

岐阜県、道路管理にICT活用

14年度からシステム構築

3D画像データなど取得へ

岐阜県は14年度から、情報通信技術（ICT）を活用した道路管理のシステム構築に乗り出す。新たに取得する道路沿線の高精度3次元画像データと、道路施設台帳など既存のさまざまなデータを集約し結びつけることで、戦略的な維持管理や防災・減災対策などに役立てる。当初予算案に約4億円を計上、高精度3次元画像の取得やソフト開発などに着手する。

県は06年度から、県や統一統合型GISを運用し、進んでいるため、これまで市町村がそれぞれ整備する道路に関するさまざまな道路台帳や都市計画基データを管理してきた。した道路管理が求められ本図などを2次元のデジしかし、県が保有する道路地図に統合した「県路施設は膨大で老朽化も

μは、まず県が管理する道路沿線にカメラを登録した車を走らせ、高精度3次元画像を取得し地理空間を情報化する。

取得した3次元画像データは、道路台帳など維持管理に関するさまざまな情報と結びつけることで、災害復旧事業や施設

の位置情報の把握など効率的な維持管理に役立てる。

具体的には、トンネルや道路、橋梁の路面のデータとパトロール時の状況を比較することで、損傷や劣化の変化が把握できる確かな判断・対応が可能。

また、災害復旧では、被災前の状況や地形と被災後が比較できるため、災害復旧業務の迅速化につながる。そのほか、占有物件などの確認、公共測量の迅速化やコスト削減などさまざまな効果が期待できるとしている。

【建設ICT】

1. 日経	2. 朝日	3. 毎日
4. 読売	5. 岐阜	6. 中伊
7. 産経	8. 静岡	9. 伊勢
10. 中部経済	11. 建通	12. 日刊工業
13. 建設通信	14. 信濃毎日	15. 日本海
16. 建設工業		

平成26年2月26日(朝)・夕) P 8